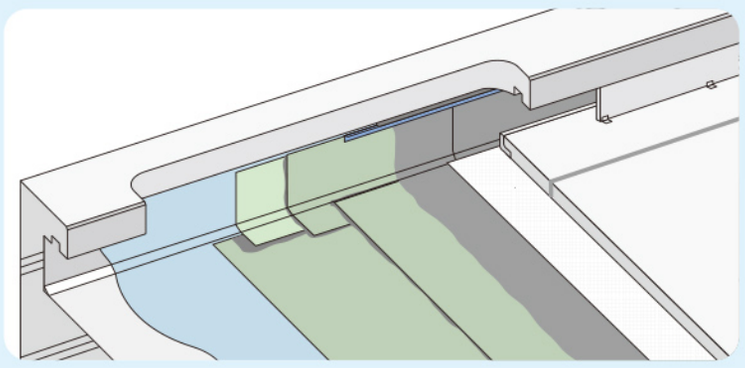
⑤あなたの屋上は、大丈夫？

あてはまるものに
チェックしてください。

Check 1　現状が『アスファルト防水保護コンクリート仕上げ面』の場合

既存アスファルト防水
保護コンクリート仕上げのイメージ



現在雨漏りが発生している。
→ すぐにご相談を!!　☐

Q1 防水改修を行わず、17年以上経っている。　☐

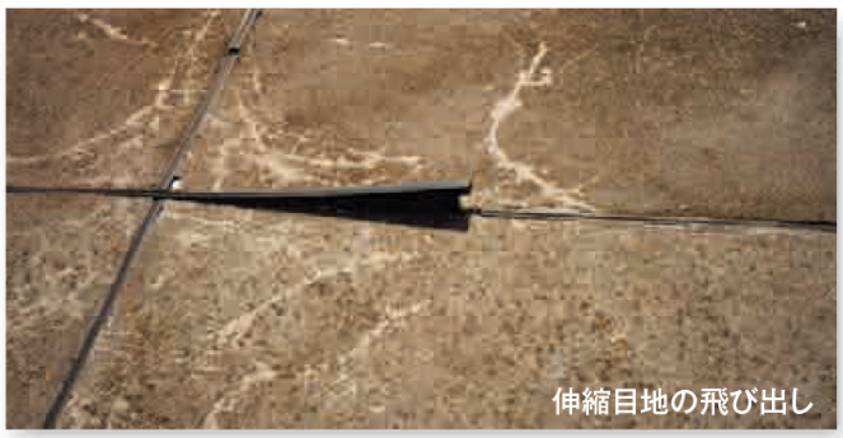
Q2 屋上の外壁の壁に水平に長いひび割れが発生している。　☐

保護コンクリートの押し出しによる外壁の亀裂

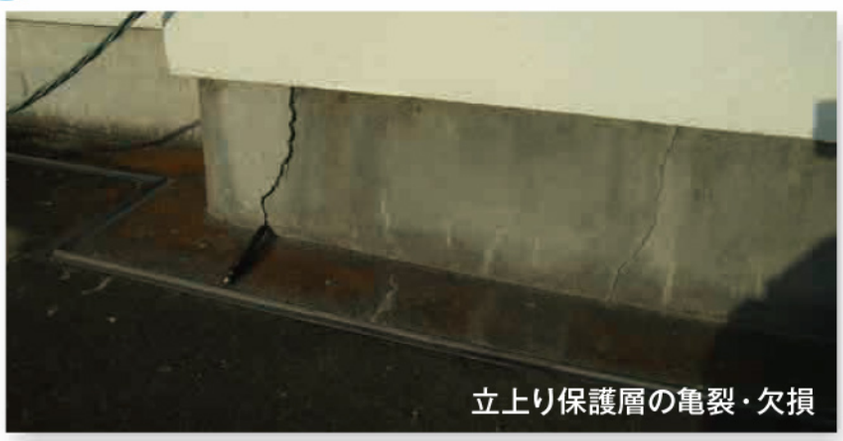
Q3 コンクリートのひび割れがひどい。
叩くとカラカラと乾いた音がする。　☐

パラペット笠木部の亀裂

Q4 床面のコンクリートの目地が飛び出している。
コンクリート自体が盛り上がっている。　☐


伸縮目地の飛び出し

Q5 外周の腰壁面（立上り面）の
コンクリート、モルタルが割れている。　☐


立上り保護層の亀裂・欠損

Q6 ドレン（排水口）周辺のひび割れがひどい。雑草が生えている。　☐

ドレン周辺のひび割れ・植物の生育

判定

- チェックが1～2項目……点検・清掃をしながら、経過を観察しましょう。
- チェックが3～4項目……要注意です。専門家に防水診断を依頼しましょう。
- チェックが5項目以上……防水改修の必要性が高いと思われます。改修計画の立案を検討しましょう。

防水用語一口メモ

※パラペットとは ： 屋上外周に沿って立ち上げた腰壁で、屋根防水層を立ち上げる末端となる部分
※笠木とは ： 塀・手すりなどの頂部に乗せる横木などの仕上げ材のことで、防水では一般にパラペットの上にかぶせて雨水を防水端末に入らないようにする部材をいう。モルタル笠木・アルミ笠木などがある。
※伸縮目地とは ： アスファルト防水の上にコンクリートを打設して仕上げる、保護コンクリート仕上げの際に、下地の動きによりコンクリートに亀裂が入らないように、一定間隔に入れておく目地のこと。
※立上り押え層とは ： アスファルト防水保護コンクリート仕上げなどの際に、立上り部防水層を紫外線劣化から保護するためにかぶせるモルタルやレンガ積みなどの保護層（上のイメージ図を参照）